

夏だ海だ後鳥羽上皇だ!?

天の川

熱田津（はぎなつ）に

船乗せむと

月待てば

雲

潮もかなひぬ

今は漕ぎいでな

熱田津

彦星

今年の七夕は曇り空

という予報を受けて、お天

気キャスターが「今年の七夕は

地上の人々の目を気にせ

ずに（彦星織姫は）会え

そうです」と言っていたの

を思い出して書き

ました。

うまい

そういう言い方も

あるのだなあ…

▼ 右の歌と遊んでください。



引き潮

遊ぶというより

分析



日頃意識しませんが、月が天頂または地面の真下にある時に満潮になります。なので、「月が昇るのを待た」ことと「潮位が上がった」ことは当然の理由と結果だということがわかります。ということは額田王あまの海に詳しくないということもわかります。

月を待たら
潮もい感じになた
←
物理的に考えれば
当たり前のこと

ついでに、月が昇ることを意識していることから夜の物語だとわかり、さらに月が見えていることから旧暦で7日~20日頃の物語ということもわかります。

額田王

日本（にっぽん）

熱田津（にぎたつ）に

船乗せむと

機を

氷待てば

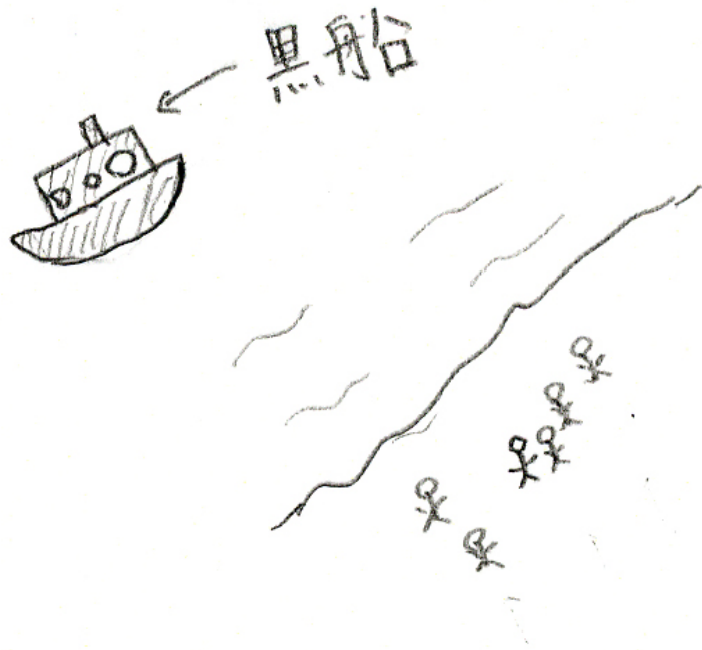
浜にむらがる

潮もかなひぬ

今は漕ぎいでな

攘夷志士たち

額田王



熱田津（にぎたつ）に
船乗せむと
月待てば
潮もかなひぬ
今は漕ぎいでな

額田王

種子島に
船乗せむと

天待てば

風もかなひぬ
イグニッショニハ

月探査機

われこそは

新島守（にいじまもり

隠岐の海の

荒き波風

心して吹け

後鳥羽上皇



われこそは

新島守飼育係（にいじまもり）よ

隠岐の海の

荒き波風生物

心して吹け見よ

水族館

後鳥羽上皇

われこそは

新島守（にいじまもり）よ

隠岐の海^を

^こ過りたければ
荒き波風

^せこおりにゆけ
心して吹け

後鳥羽上皇

われこそは

新島守（にいじまもり）

隠岐の海の

荒き波風

心して吹け、我がため^わに。

後鳥羽上皇



われわれ
を多きは

新島守（にいじまもり）よ

隠岐の海の

荒き波風

心して吹け

後鳥羽上皇

「いじまもりがたまたし」

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？

インタビュー
輝元が三矢伝説と広めた！

- ・どうしてこの伝説と選んだのですか。
他にも多くの文書があったのに
- ① それは二つ広めた時期と段々追加です。
・その時期とは一体いつですか？
- ② 関ヶ原の敗戦直後です。毛利は
関ヶ原で戦わずに負けた。
・はあ（理由とかんがえない気が）
- ③ 負けたら領土をとりえる可能性が
高いのです。しかしそこで「救世主が
現れた、家康さんです」
- ④ 私が家康公に毛利を助けてくれるよう
お願いしました。
・すると、それでゆるしてくれたのですか？
（うわあいきなり別の人が出てきたよ）
- ⑤ いや、家康公は、私の訓家（しんけ）に2ヶ国と
与えようとして、毛利を潰そうとした。
⑥ この家康公は、吉川（よし）毛利本家を
残置してくれただけです。家康公は、私と
広家との間と裂くために吉川に2ヶ国を与
えようとしたのです。
・なるほど（で、何で三矢伝説と広めたのかな？）
- ⑦ 家康公は、戦った仲と裂き毛利を潰しに
来たのです。
- ⑧ いや、それは家康のワナにかかってはな
ないのです。そこで、吉川と仲良くして
ために、この伝説を使わせてもらいました。
・そういう事なんですか（やっとながら）
偉大なる祖父の教訓状と持ち出し、毛利家
とまとめようとしたんです。
- ⑨ その通りです。
・（長男優位で固めた元就の心が無事伝わったみたいだな）
- ⑩ ですか。実際あの元就持の教訓状、子供たちには拒絶されてしまった（笑）
- ⑪ ですか。三矢仲良くやるとかヒドゥンゲーム（笑）

出演

毛利光元さん

元就の跡を継ぐが、
関ヶ原に負けた。

吉川広家さん

父は元就の2男元春。光元
さんとはいじり同士。関ヶ原では
弟に積極的に参加せず

▼ 元就の気持ちブログ

☒ 1557年11月25日 十四箇条の教訓状執筆時点

☐ 1600年9月15日 関ヶ原合戦直後（幽霊として）

☐ まさかの徳川家康

今日 3人の息子たちに、長男を大事にしなよ、という手紙をかきました。
あいつらといたら、隆元が気の弱いのかいいことに、隆元の言うことと聞かない
んです。だけど、直接そればかり書いたら、おとが有かいので、適当なやつもなくて
入ってます。私っていい親父でしょ？

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？

名作 三本の矢 秘録 毛利家再興に 狸の魔の手?! 最近、毛利の分家、吉川家に かがいつてきている。家康のはからいで 毛利家の旧領を与えられたらしい。おに 本家と離れた小早川家のようななる 可能性が高い。これに対し、毛利 輝元は「三本の矢」なる話を出して 三家の再結束を訴えている。 (田面に 関係記事) 関ヶ原合戦大全 好評販売中!	社説 「三本の矢はただのきれいごと」 「三本の矢」は小早川・吉川・毛利の 三家の両方を指すが、実際は毛利家 繁栄がメインで、それゆえに小早川・吉川は 一部しか承諾していない。当時から、 おてに対立はあったのだ。輝元は 美談ばかり出して、結局は分裂を 止められなくてあろう。 呪 売ります! ・安い! ・軽い! ・強い! 実際は 使われ 変な話!
---	--

▼ 元就の気持ちブログ

- ☒ 1557年11月25日 十四箇条の教訓状執筆時点
- ☐ 1600年9月15日 関ヶ原合戦直後 (幽霊として)
- ☒ まさかの徳川家康

ふーふー... すばらしい! これで毛利家は安泰じゃ! ... ナルシストではないぞ。
しかし、元春も隆景も反抗的 ぞこまる。あやううが毛利にはむかう前に...
個別にリネチしてやるう。

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？

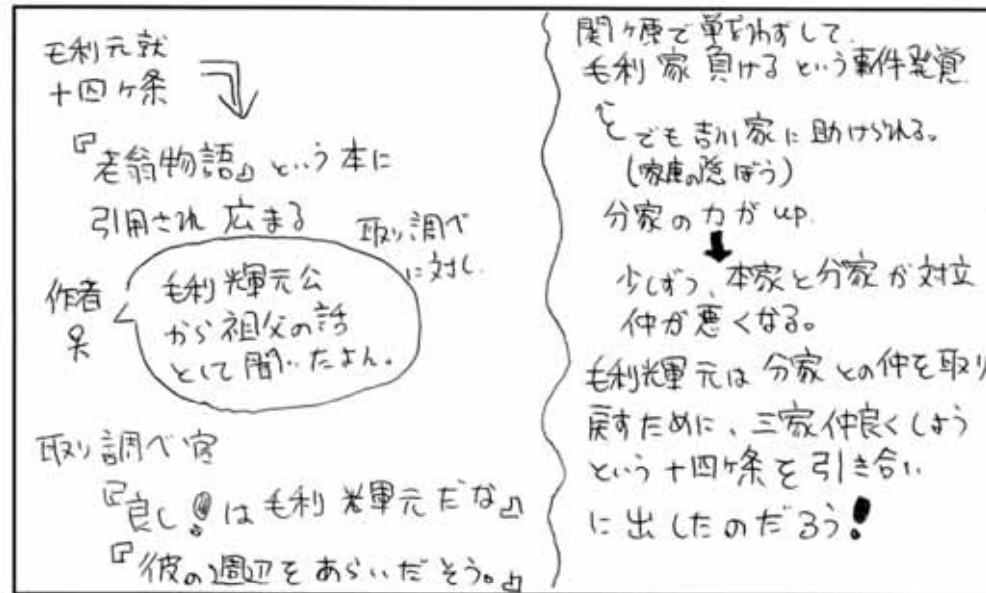
【注】毛利元就が三本の矢がとう言っていた件【隆元元年隆景】
 1 名無し募集中。。。 1600/09/15(月) 19:05:23
 ソースはmixi
 2 名無し募集中。。。 1600/09/15(月) 19:11:00
 ちよwww
 3 名無し募集中。。。 1600/09/15(月) 19:27:58
 毛利家の者が来まじよー
 なんか関ヶ原で負けて、家康のせいであまり家の者がなくなっちゃったのか？
 それを建て直すために隆元が元就の14ヶ条を巧く出して来たらしいぞwww
 4 名無し募集中。。。 1600/09/15(月) 19:29:14
 懐古厨ですね。わかります
 5 毛利元就 1600/09/15(月) 19:41:05
 とにかく毛利という名字が未だまで残るように心がけるんだあ(^w^)
 6 名無し募集中。。。 1600/09/15(月) 19:42:37
 》5 本人キタ——(ry)——!!!

▼ 元就の気持ちブログ

- ☒ 1557年11月25日 十四箇条の教訓状執筆時点
- ☐ 1600年9月15日 関ヶ原合戦直後 (幽霊として)
- ☐ まさかの徳川家康

毛利家の名前を未だまで残したい人だけど、俺もいつまでも生き残るへんかなあ……。あいつら三人に言えんが。三人仲良くしてきてくれよ。それだった。この世 勝ち指して行けへんかなあ……。ちよとキリ目に書いたぞw

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？

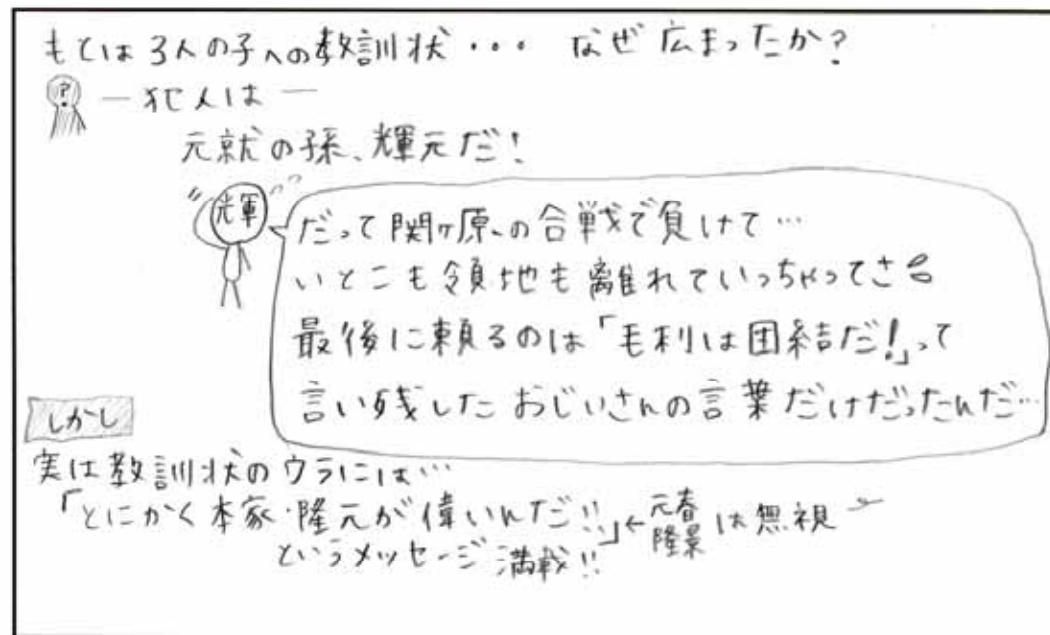


▼ 元就の気持ちブログ

- ☐ 1557年11月25日 十四箇条の教訓状執筆時点
- ☒ 1600年9月15日 関ヶ原合戦直後 (幽霊として)
- ☐ まさかの徳川家康

おや、広家は良くな。良く祖父の気持ちがか、てるじゃないか！天国にや
がきたら一緒に酒を飲もう。にしても輝元はダメだな。動かずに関ヶ原で負ける
が全く何もや、てひんだ。もとし、かりせい。そして問題はあのダメな。
毛利の名を消しにきてるな。あのダメめ、あつくな、天ぷらに毒でも盛、てひら
かな。……。

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？



▼ 子孫の気持ちブログ

1557年11月25日 ☐ 長男 隆元
 ☒ 次男 元春
 ☐ 三男 隆景
1600年9月15日 ☐ 孫 輝元

今日は昼まで寝て良い気分だったのに親父からうざい手紙が来た。
何かと思ったら またその話かよー あー…。俺は俺で頑張ってきたのに
ほんとになんもわかってねーな。サイワー。

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？

Source: 三人の子供に与えた十四ヶ条の教訓状

↓ But
とても重要であつたため、一般には広まらなかつた。

Who popularized? → 老翁物語で、毛利輝元公が読みかせたことを明かす。

What's motive? → Situation: 天分目跡に買ひ領地を4分の1に減らされた。
 Situation 2: 家康の奸計 → 分家と本家に不和。
 Conclusion: 家康の奸計に對抗するため、God grandfather に起つて、家康を打ちめようとした。

ふくしや
西は名譽系
だ。たよる？

十四ヶ条の教訓状
毛利家を木代まで残るためのもつた。
3条もその目的にしか過ぎない...

▼ 子孫の気持ちブログ 元就 (35)

1557年11月25日 ☐ 長男 隆元 (35)
☐ 次男 元春 (21)
☒ 三男 隆景 (10)
 1600年9月15日 ☐ 孫 輝元

親父は毛利家の名前をけを死にさせることしか考えてない。宇治の奴のような奴だ、虫けらのような奴の弟達も遠征地にくくなんては「かげ」ている。ヤジは「おが弱くても3本木木は折れない」と言った、それは他の弟達を虐待している!! だから折ってやるのだ!! そのことにも気が付いて叱る親父には目は見えない奴だ...

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？



▼ 子孫の気持ちブログ

1557年11月25日 ☐ 長男 隆元
 ☐ 次男 元春
 ☐ 三男 隆景
 1600年9月15日 ☒ 孫 輝元

いやあ、あせりましたよ。知らないうちに野郎終ってるんだもん。毛利家やい仲悪くならないように気をつけなくちゃ。そうさ、祖父の教訓状。次男に探してアッ、アッときますね。

▼ 三矢伝説ができたウラ事情とは？



「真犯人がわかったんですよ、目暮警部」

「本当かね、毛利君!？」

「この話の情報源は」

老翁物語 → 小田木エ允 → 毛利輝元公 → その祖父と逆上れます。

この輝元公とは元就の孫にあたるのです! そう、真犯人はあなただ!

「なに!? たが元就は多くの手紙を書いた。なぜこれを盗んだのだ?」

「輝元の口には広家というものがございます。こいつは毛利の家かつぶされ

そうになったとせに、敵たる家康にたのみこんでボクしたのです。

これにより本家と分家のバランスがくずれ、毛利の家がババウになリかけた。

だからこそおじいさんの教訓をもちだしてつがったのです。それが外にもれ

世間に広す、たのでしょう。

さらにもう一つ、実は毛利の親子は仲がわるかった。『なに!?』

「本家と長男を重んじる父と、弟2人は対立していたのです…」

▼ 子孫の気持ちブログ

1557年11月25日 ☐ 長男 隆元

☐ 次男 元春

☐ 三男 隆景

1600年9月15日 ☒ 孫 輝元

「え、そうだ... おしがね、たんた...。おじいさまとおじいさまの仲が悪いのも、うすうす気づいて
いたさ... なのにあいつは... 広家はおしのために... おしを、おじいさまに完全に賛成
したわけじゃない! でもあいつのために... おしはやさなさま、ならながら、たんた!!」

「さ、いこうか」(目黒)